

## 90. 100年の樹



## DATA

所在地 大分市東大道

設計者 塩塚隆生アトリエ

所有者 大分市

概要

半径：2,337.5mm～9,524.06mm

高さ：約10m

「100年の樹」は大分市誕生100年記念で制作された大分いこいの道のシンボルロードにあるモニュメントです。モニュメント制作は公募型プロポーザルが実施され、大分市の建築家・塩塚隆生さんの作品が選ばれました。

「100年の樹」は、大分市の100年間の人口の推移がモチーフとなっており、各年の人口を各リングの半径で現し、そのリングを100個（100年）積み重ねることによって高さ10mの立体となっています。

大分市の歩んだ100年間の人口の推移（＝大分市の成長）を樹木が成長するかのごとく表現されたこのモニュメントは、昼間はシンボルロード内の樹木と重ね合わせられ風景とひとつながりとなり、また夜間には内側からライトアップされシンボルロードのランドマークとなるなど、多くの市民に親しまれています。

## MAP

